

21: 「Terakoya☆ commons」を目指して

東京学芸大学附属図書館

江戸時代の寺子屋と現代のラーニングcommons—— 一見意外な取り合わせですが、その「自主的な学び」「集団の学び」「多様な学び」は時代を超えて共通ではないでしょうか？

東京学芸大学附属図書館は、ラーニングcommonsを拡張し、学びの館「Terakoya☆ commons」の実現を目指しています。寺子屋の教科書「往来物」コレクションを教育学の拠点である大学の誇りとして掲げつつ、「学びのにぎわい」「教え合い、学び合う」を現在の環境の中で先取りして創出することを図っています。

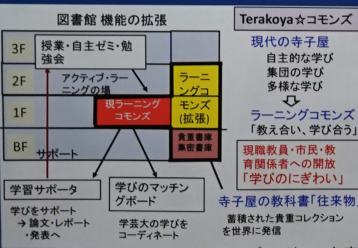
「Terakoya☆ commons」構想 発表！

館内・Webでパンフレットを配布中！

附属図書館は、ラーニングcommonsが活発に利用される館内のスペースが不足していることから、ラーニングcommonsや書庫の拡張を含む「Terakoya☆ commons」を構想し、実現を目指しています。

このたび、パンフレット「Terakoya☆ commons」構想 - 「教え合い、学び合う」場は時代を超えて - を作成し、館内・Webで配布を開始しました。ぜひ一読の上、実現に向け投書箱や回答フォームにご意見をくださいませうお願いします。(現在、国内を巡っている事業です。)

Terakoya☆ commons ~ 教え合い、学び合う



図書館かわらばん No.4 2017年冬 (注)フロアプランは2017年度時点のものです

ラーニングcommonsの多彩な催し (続き)

教育×お笑い×数学

11月30日(木)には、タカタ先生ことお笑い芸人の高田和典さんを招いて、「教育×お笑い×数学」が開かれました。主催は、本学学生サークルcodolaboのつながり交流部門 cue で、学生と社会人を繋ぐ場づくりのイベントをシリーズで行っています。今回は、お笑いライブに爆笑した後、高田さん自身の学生時代や、数学を楽しく学ぶコツなど盛りだくさんのお話が聞けました。「自分の強みを生かして教員になること」を考えさせられた。と参加者の声がありました。

学びのイベントさまざま

ラーニングcommonsでの学びのイベントは多彩で、学生の皆さんならではのオリジナルな企画が豊富です。

1月19日(金)には「教育実習プレ・ポスト」が、教育実習を経験した先輩の声を聞きたいという学生の声を受けて開かれ、好評でした。主催は同じく codolabo の学生部門 stella で、学生が主役のイベントを支援しています。

開かれた場であるラーニングcommonsの学び、これからもご期待ください。皆さんのご参加・企画持ち込み大歓迎！

図書館かわらばん No.7 2018年春 「学びのにぎわい」を創出しています

図書館キャラクター決定！

最優秀作品：「まなぶんぶん」 橋本 均加さん (A 類美術科 3年) [応募時]

優秀作品：
「ブックロー博士、ライ、プラー」 近藤 薫さん (学務課職員)
「たくさんのご恩恵 ありがとうございます！」

表彰式のお知らせ

日時：平成30年4月27日(金) 12:15-12:30
場所：図書館1階ラーニングcommons
どなたでもご参加いただけます

「学びのにぎわい」をキャラクターで表現しています

「図書館かわらばん」の発行 (2017年夏刊)

タイムリーな館内掲示で図書館の活動を伝える (Webにも掲載)

「学びのにぎわい」を発信しています

大石 学 審査委員長 (附属図書館長(当時)) の言葉

審査委員会では、7名の委員が厳正な審査・投票をおこないました。投票は1位2点、2位1点の方法で集計し、わずかに1点差で「まなぶんぶん」に決まりました。古くから知性・学問のシンボルとして知られるフクロウと、象徴でアクティブなイメージのハチとの特徴。そしてハチの首の横線は、静かな知識の蓄積の場から、活動的な知識の創出の場へ、という図書館の大きな変化を象徴しています。新しくキャラクターのもと、図書館に集う皆さん一人一人が大きく成長するとともに、本学図書館が「教え合い、学び合う」「学びのにぎわい」の場として、さらに発展することを願ってやみません。

東京学芸大学附属図書館